

## 部の概要

情報技術部(ITD)はシステム技術課と図書資料課から成る。システム技術課は、ネットワークおよびサーバーの計画・導入・構築並びに(パソコンを含む)ハードウェア環境の保守を担当する。また同課は研究データを保存する各種データベースを構築し、関連するアプリケーションソフトウェアの開発を担当する。図書資料課は学術誌へのアクセス、放影研の研究に関する出版物およびABCCと放影研の歴史的試料を専門に扱う放影研図書館に関する業務を担当する。

ITDには、庶務係1名と部長事務取扱、次長を含め14名の職員が在籍している。そのうち10名はシステム技術課に所属し、1名が図書資料課を担当する。現在の部長事務取扱が「部長代理」を務めている。新しい部長の公募を2018年に開始した。

---

## 2018 年度業績

### 1. 専門会議への参加による職員の能力開発

ITD の職員は、オープンアクセスインフラや最近の電子図書館の開発に関する専門会議に出席した。この継続的な自己啓発は、ITD が直面している変化を予測する能力を高めるために重要な助けとなっている。

### 2. インターネット接続の改善

主要なインターネットプロバイダーと交渉して、帯域幅速度を向上させると同時に、研究所への全体的なコスト削減を実現した。インターネット接続の帯域幅は 60Mbps から 100Mbps に増加した。

### 3. 広島研究所のサーバー室隣接設置の無停電電源装置(UPS)

広島研究所のサーバー室隣接設置の UPS が耐用年数に達した。UPS は大容量の電池で、ディーゼルバックアップ発電機を作動するまでに必要な数分間、サーバーやストレージ、スイッチなど全ての機器を維持するための電力を供給することができる。調達先の業者と交渉した後、2 日間全ての機器を一時停止して新しい UPS に交換した。

### 4. ネットワークスイッチの交換

広島研究所の建物に設置されたネットワークスイッチの約半分(7 台)は古く、故障することが多かったため、それらのスイッチを交換した。スイッチの耐用年数は 5 年から 10 年である。

### 5. ホストサーバーのアップデート

放影研の中核となるデータベース用の 3 台の仮想ホストサーバーのうち 2 台を交換した。これは、放影研インフラの定期保守と維持管理の一環である。

### 6. ストレージのアップデート

老朽化した仮想ストレージ 2 台を交換した。

### 7. 職員のためのパソコン環境

2018 年 12 月の時点で、職員用の約 40%のデスクトップ PC で、オペレーティングシステムを Windows 10 にアップグレードした。また、デスクトップ PC 用液晶モニターの約 30%を大型液晶モニターに交換した。